



広報

なま

市民の友

第670号 毎月1回発行
2006年(平成18年)

11月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷株式会社

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2006(平成18)年9月末現在	
総人口	316,004(1,908)
男	152,704(993)
女	163,300(915)
世帯数	129,643(1,103)
住民基本台帳人口の内部(外国人を除く)	
本 庁	93,304
真和志	105,526
首 里	58,321
小 禄	56,945



網も熱気も世界一

第36回那覇大綱挽

36回を数える那覇まつりのメインイベント「那覇大綱挽」が10月8日、沖縄の大動脈、国道58号久茂地交差点周辺を舞台に開催されました。

女綱100m、男綱100m、全長200mのギネス認定、世界一を誇る「那覇大綱挽」は、地方の綱挽のように災厄払いや豊年祈願のために行われるものと違い、もともとは国王の慶事などで催されていたとされ、400年近い歴史を持つと言われています。

今年は、5年に1回行われる「世界のウチナーンチュ大会」の開催年にあたるため、10月12日のオープニングを前に既に来沖していた大勢の「世界のウチナーンチュ」が、綱挽に参加。

沖縄を遠く離れた世界の国々に暮らすウチナーンチュが那覇に集い、市民・県民・観光客らと一体となって声を揃え力を合わせて世界一の大綱を挽き合いました。

勝負が決すると、外国に暮らしているも、イチヤリバ兄弟(行き会えば皆兄弟という意味)の精神が思っているようで、周りの人々と旧知の友人のように肩を叩き合い、健闘を称えあっていました。

綱挽の終わった後には、爽やかな新北風が吹き抜け、南国・那覇に秋の到来を告げていました。

(4面に関連記事)

主な紙面

2006 那覇市環境フェア
子育て応援DAYサービス開始
おかえりなさい世界のナフアンチュ
コミュニティバスの試行運転が始まります
情報P.A.K

6 7 5 4 3 2

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。

市では、母子保健計画「健やか親子なは」の中で、「親子が共に楽しく遊び心豊かに育つ」子育て環境をめざすことを掲げています。それを実現するために、行政、家庭、地域、NPOなど関係団体が協力し、そのめざす姿に取り組みんでいます。

市の取り組みとして、遊びの大切さを子ども達の発達過程と関連付けて、親に啓発することをあげています。

また、家庭での取り組みとしては、休日には家族で遊ぶ、遊び場マップなどを活用して遊びの計画を家族みんなで立てることを具体的に掲げました。

現状として、父親は、休日には子どもと過ごすように心がけているが、子どもとの遊び方がよくわからないという声があります。また、母親は、父親が子どもと一緒に遊び育児に参加することによって、子育ての負担感や不安が軽減されるということがわかりました。

乳児健診は、両親で来ることも多いので父親と一緒に遊び方を学べる格好の場と捉え、施策を検討していったところ、妊娠・出産・育児の情報を出版しているベネッセコーポレーションの寺田穂所長から「私たちの持つノウハウを活かし、那覇市と協働で、子ども達

乳児健診で 親子あそびスタート



感覚遊びや親子体操などの遊びに、「とても面白い。子どもも楽しそう」という声が聞かれました。

「あそびセッション」は、童歌を使った感覚遊びや親が子どもを抱きあげて揺らす親子体操、子どもをくつと抱きしめてあげる遊びなど、親子のふれあいを大切にしたプログラムが、NPOの保育サポーター「ゆいkids」の実践の下、行われ、参加者からは「面白い遊びで、楽しい」という感想も聞かれました。

市では、今後も子どもたちが、心身ともに輝き、健やかに育つための環境づくりに努めます。

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。
☎862-9942 秘書広報課

100 再生紙を
使用しています。